

2026 年度 共通教育センター FD 活動方針・活動計画

2026 年度共通教育センターでは、全学の FD 方針に基づき、以下の取り組みを実施する。

1. 2026 年度共通教育センター組織目標

(1) 「たくましく生きる力」を育む教育

生成 AI 時代に対応する授業設計の基本方針

- ・ ICT・各授業における生成 AI の活用範囲に関する許容基準について、学生への周知方法を整理し、全学に向けて発信する
- ・ 言語・クラス間で生成 AI に関する情報共有を行い、学生への生成 AI に関する対応については、状況に応じて統一的な取扱いを定める

教育成果の可視化を図る

- ・ 授業初期（第 1 回または第 2 回）および最終回にアンケートを実施し、学生の知識およびスキルの到達度を把握する（5～10 項目目安）

(2) 教育の質保証

- ・ 授業観察・非常勤に拡充

(3) 学部専攻科目との接続

- ・ 各学部の授業を初年次科目、専門科目、ゼミ活動と分けてその担当者と FD 開催後も継続的に授業の接続を協議する

(4) サポートデスクの運営

ICT サポートデスクの運営

- ・ MOS 試験・・・前期および後期それぞれに 4 週間の試験期間を設定し、年間の受験者数として延べ 70 名を目標に受け入れを行う

ライティングサポートデスクの運営

- ・ 学部に向けて出張講座を行う

(5) 教員の意欲・教育手法向上のための WS・FD 活動実施

- ・ 月に 1 回のセンター内 WS や FD を開催する

(6) 教育実践と成果の外部発信

- ・ 紀要は原則全員が執筆する

2. 共通教育センターが育成する学生像

2年生修了時点において、「自己理解と現実認識を土台にして、前向きに将来へ向かおうとしている学生」である。具体的には、

- ・将来像が固まっていなくとも自分で考え、選び取ろうとする意欲を持っている。（主体的意思決定力）
- ・理想とともに現実も受け入れることで、過度に焦ったり悲観せず地に足のついた判断ができる。（現実受容に基づく判断力）
- ・環境への適応力が高く、どのような状況でも楽しさや意味を見いだせる。（環境適応力・意味創出力）
- ・自分の将来に対して希望を持っており、前向きに進むことができる。（将来志向性・希望形成力）

3. 上記学生を育成するために各科目群が果たすべき役割

【ICTスキル科目群】

- ・将来を設計するための手段として、情報を収集・分析し、自分の選択肢を広げる力や、変化の激しい環境でも適応していける基盤をつくる。
- ・環境に左右されすぎず主体的に進路を考える力を育てる。

【言語スキル科目群】

- ・思考と言語化を結びつける力を育てる。
- ・自己理解を深めるために、自分の考えや将来像を言葉にできるようにする。
- ・将来を考える準備を整えるために、他者との対話を通じて新たな視点を獲得することができるようにする。

【ヒューマンスキル科目群】

- ・どんな環境でも楽しく生きられる力を育み、現状を受け入れる力やレジリエンスを高める。
- ・環境の違いをストレスではなく機会として捉えるために、対人関係力や共感力、協働力を育成する。

【人文・社会・自然科学科目群】

- ・物事を多面的に捉える視野を提供する。
- ・自分の置かれている現状を相対化し、受け入れられるように社会の仕組みや人間の在り方、自然の法則を理解させる。
- ・自分の将来に意味や価値を見出すための問いを与える。

【キャリア支援科目群】

・上記4科目群で得た力を将来へ接続できるように、自己理解の深化や経験の振り返りを通じて、漠然とした希望を具体的な方向性へと変換させる。

4. 共通教育センターにおけるFD活動方針

共通教育センターが育成する学生像に対して、各科目群が果たすべき役割を踏まえたFD活動方針は以下の通りである。

育成する資質科目群	主体的意思決定力	現実受容に基づく判断力	環境適応力・意味創出力	将来志向性(希望形成力)
ICTスキル	情報収集・分析に基づく選択肢の提示	データに基づく現状の把握	新しい環境への技術的な適応	将来可能性の拡張
言語スキル	思考の言語化・意思表示	状況の整理・内省の言語化	他者・異文化との対話	将来像の表現・共有
ヒューマンスキル	他者との関係の中での意思形成	フィードバック受容・対人調整	協働・共感・関係構築	支援的関係の構築
人文・社会・自然科学	多様な価値観の理解による判断軸の形成	社会・人間・自然の構造的な理解	多角的視点による意味解釈	人生観・価値観の深化
キャリア支援	自己理解と進路選択肢の提示	現実的な進路の認識	経験の意味づけ支援	目標設定・動機づけ

5. 2026年度共通教育センターにおけるFD活動目標

【ICTスキル科目群】

・専門分野におけるICTスキル活用のイメージが持てるよう、学生の専門分野に即した課題を設計し、授業内で実践・評価する。

【言語スキル科目群】

・学修成果の可視化を目的とし、学生の成果物のプレ・ポストを分析し、評価を行う。また、そこから得られた傾向から指導方法・教材等の検討を行う。

【ヒューマンスキル科目群】

・生成AIの普及に伴うアウトプットの均質化・一般化(不正行為)という課題に対し、AIの使用に関するポリシーを明確にする。

・学生固有の身体的・個人的経験を起点とした内省を促す課題を設計し、実践・評価する。

【人文・社会・自然科学科目群】

・非常勤教員に対して、本学の現状に合わせた授業設計と授業運営のためのWSを実施する。
具体的には、①単位認定方法の明確化と公開、②アスリート学生の公欠対応、③留学生の出席管理、④UNIPAの効率的な使い方など。

【キャリア支援科目群】

・「教員自身の業務効率化・授業準備のための生成AI活用ハンズオン」まずは教員自身が生成AIの利便性を実感し、授業運営の負担を軽減することを目標とする。具体的な活用事例を紹介しつつ、実践的なワークショップ形式で行う。

以上